

秋田県立新屋高等学校

創立三十周年記念式典

きざむ 刻 ～未来につなぐ新高 Legend～

- ・記念式典
午後1時～2時05分
- ・記念講演会
午後2時20分～3時20分
- ・記念演奏
午後3時40分～4時10分

＜記念式典次第＞

- | | |
|-----------|----------|
| 開式のことば | 来賓紹介 |
| 国歌斉唱 | 感謝状贈呈 |
| 秋田県民歌斉唱 | 表彰状贈呈 |
| 実行委員長あいさつ | 生徒代表あいさつ |
| 校長式辞 | 校歌斉唱 |
| 来賓祝辞 | 閉会のことば |

創立三十周年記念式典挙行

9月19日(金)、秋田県民会館において、
創立三十周年記念式典が挙行されました。

在校生や卒業生など約千人が出席し、記念式典が盛大に行われました。実行委員長である同窓会長森屋淳氏(本校第3期生)が、新屋高校生として過ごした日々を振り返りながら、記念式典開催の喜びを述べました。

佐々木律成校長は「自尊・自知・自製の校訓の下、今後も社会に対して責任を果たして行こう」と式辞を述べました。

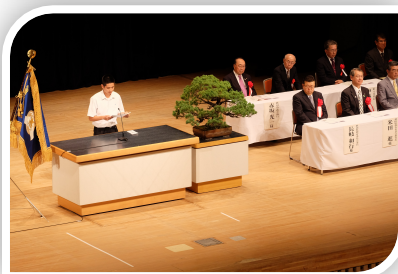
米田進秋田県教育委員会教育長からの祝辞の後、学校功勞感謝状、永年勤続表彰状が贈呈され、長年新屋高校の発展に尽力いただいた方々への感謝の意を表しました。また、三十周年記念関連行事等で使用されているキャッチフレーズ、ポスター、シンボルマークを考案した生徒3名への表彰も行われました。

生徒会長高橋和希君は「三十周年を新たな第一歩として次なるステージに進むことを誓います」とあいさつしました。



学校功勞感謝状

- 初代学校後援会長
武藤 真作
- 歴代PTA会長
小松 隆之 向島 弘平
嵯峨 透 安宅 春美
叶内 明子 平塚 康咲
- 初代同窓会長
菊地 宏樹
- 歴代校長
岡野 文秀 高野 豊昭
加藤 繁 矢田部 晃
高安 暢
- 学校医・学校薬剤師
木村 衛 杉田 達夫
柴田 隆
- 校訓額揮毫
根 義鎮



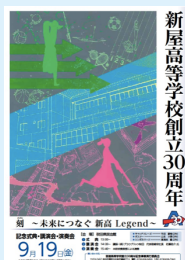
生徒表彰状

- キャッチフレーズ採用
竹田 駿哉(2年)
- ポスター採用
山本 小葵(3年)
- シンボルマーク採用
東海林 楓(2年)



↑シンボルマーク

→ポスター



永年勤続表彰状

- | | |
|-------|-------|
| 鎌田 博秋 | 向島 洋 |
| 松本 守 | 石山 伸介 |
| 二木 聡子 | |

校歌斉唱

本校の校歌は本来四番までの構成となっていますが、本校体育館正面に掲げられている校歌額にも、歌詞は三番までしか書かれていません。四番の歌詞を知らない在校生などにも、新屋の美しい自然を歌ったすべての歌詞を知ってほしいとの声上がり、記念式典では、校歌を第四番まで斉唱しました。

記念講演会

演題「秋田の未来を本気で考える」

～Jリーグを活用した地域プロモーション～

式典に続き、(株)ブラウブリッツ秋田代表取締役社長 岩瀬浩介氏を講師としてお迎えし、記念講演会が行われました。

「1年以上前に講演依頼をいただき、日頃からボランティア活動などでがんばってくれている新屋高校生のためにと、お引き受けしました。」「あるとき、勝てるはずの試合を0-1で負けてしまい、サポーターもフラストレーションがたまっていました。サポーターからの厳しい言葉が飛ぶような重い雰囲気の中、ボランティア活動で運営を手伝ってくれていた新屋高校の女子生徒さんが、そのようなサポーターの人たちを『ありがとうございます！』と笑顔で送り出している姿を見て、救われた気がしました。」と、はじめに新屋高校とのつながりをお話くださいました。



岩瀬 浩介 氏

校歌 作詞 阿部正路 作曲 三善晃	一 緑なす 松の丘 青春の学の独立 太平山 姿を正し 輝くは北斗星 ああ北斗星 ももさだに ももさだに そそり立つ 新屋高校 われらが母校	三 四季めぐる 清き丘 鍛えあう若き肉体 石田坂 長き一筋 ひろがるは新屋浜 ああ新屋浜 ももさだに ももさだに そそり立つ 新屋高校 われらが母校	二 限りなき 風の丘 守りあう豊かな自立 雄物川 青く澄みつつ 波打つは日本海 ああ日本海 ももさだに ももさだに そそり立つ 新屋高校 われらが母校	四 砂光る 海の丘 磨きあう高き理想 鳥海山 空をめざして 伸びゆくは大秋田 ああ大秋田 ももさだに ももさだに そそり立つ 新屋高校 われらが母校
-------------------------	--	---	--	---

岩瀬氏はJリーグ鹿島アントラーズの本拠地である茨城県鹿島市の出身。鹿島市は工業地域で、アントラーズが創設された当時は人口減少に悩んでいました。講演の中で岩瀬氏は「アントラーズのスタジアムが、地域住民をつなぐ家になりました。現在ブラウブリッツには秋田県出身の選手が2名しかいませんが、将来的には全員秋田県出身選手にしたいと思っています。『あの選手はあそこの家の〇〇君だね』というように近所からスター選手が生まれることで、サッカーをきっかけに地域が一つになれるのではないのでしょうか。木は枝が折れてもまた別の枝を伸ばし、やがて花を咲かせますが、まずは種を植えなければ何も起こりません。子供たちが夢を叶えられるような環境を整えるための種を植えていきたいと思っています。」と、フロントとしてチームを育て、秋田を元気にするための夢を語られました。

記念演奏

本校第10代校長、元吹奏楽部顧問高野豊昭氏をゲスト指揮者としてお迎えし、本校吹奏楽部員と卒業生有志による記念演奏会が、行われました。

プログラム

- ・Celebration March “ARAYA” (阿部勇一作曲)
- ・祝典序曲 (ショスタコーヴィチ 作曲)
- ・ジャパニーズグラフィティXVII (星出尚志 編曲)
- ・Love Love Love (中村正人 作曲)
- ・ディーパーパープルメドレー (佐藤俊彦 編曲)



高野 豊昭 氏

